

平成24年度

NO. 2

5月1日発行

5月号

仲町だより

なかよく
まなぼう
ちからいっぱい
練馬区立仲町小学校

5月の学校(様々な出会い)

校長 澤井 英子

校庭の桜・桃・姫リンゴが、次々と美しい花を咲かせ、街路樹のハナミズキまで暖かな光に輝いています。あらためて美しい地域だと感じます。

入学式からわずかひと月ですが、1年生がすっかり学校に慣れ、活動の場を広げています。

全校体力テストでは、6年生とのペアで各種目を回り、記録していきます。2年生も5年生とペアで回ります。それぞれ、高学年が低学年のお世話をしながら動く姿は、とてもほほえましく、きょうだいのようにです。子供たちが、様々な人との関わりを深められるよう工夫して参ります。

【ソーシャルスキルトレーニング(SST)】

4月18日から5・6年生にSSTの授業を始めました。練馬区総合教育センターから齊藤富由起先生(千里金蘭大学準教授)のチームを派遣していただいたの実施です。

まず、学年合同で1時間。その後、各学級毎に学習しています。

「人と親密になる」・「話を聴く」・「見方をかえる」など、ごく基本的なことから、一つ一つ具体的場面を想定しながら学習しています。

人との関わり方のベースとして、身に付けられると良いと思います。

どの子どもも安全で安心して学校生活を送り、自分のよさを発揮できる学級づくりをするための第一歩です。

【遠足を通して】

2年生・4年生が遠足に行きました。万一のことがあっても徒歩で帰校できる距離を考え、城北公園と、和光樹林公園です。それぞれマナーを守ってよく歩き、集団あそびで仲間作りをしました。公園での時間をたっぷりとれるので、友達とゆっくり触れあえ、大満足の遠足でした。

【仲町のやくそく】

校帽をかぶり、廊下を静かに歩くことや、遊び時間の過ごし方など、一人一人が少しずつ意識して生活し、やくそくが守られるようになってきました。

朝会の集合や姿勢、話の聞き方も全体的に落ち着いてきています。これを持ち物や学習中のマナー・ルールにまで発展させ、

【仲町スタンダード】として取り組もうと準備中です。学校全体で全教員が同一歩調で定着させて参ります。

【演劇鑑賞教室】

影絵劇団「かかし座」による劇を鑑賞しました。始めに手で作る影絵の技を教わり、実際にフクロウやウサギを作ってみました。指を曲げることが意外に難しかったのですが、どこでも作れる影絵の魅力を感じることができたことでしょう。

低学年「3枚のお札」と高学年「竹取物語」の演目で、難しい言葉があるにもかかわらず、どの子どもも真剣に観賞していました。体育館が、まるで劇場のようにセットされ、不思議な空間を感じ取れたことでしょう。

【放射線に対する対応】

区から本年度の原則についてお知らせがありました。

1. 放射線量の定点測定(12カ所)は継続する。
2. 水泳指導は、通常通り行う。
3. 農産物は、区内で検査した全ての品目が基準以下だったため、通常通り取り扱う。ただし、学校で栽培した米を校内で食べる場合は、昨年度同様、放射線量の検査を行う。

*本校でも、昨年度5年生が収穫した米を検査していただき、安全が確認されたために、調理しました。今年度も同様の対応をします。

*生活科や理科で、トマト等の栽培のために腐葉土を購入しています。全て検査済み証を確認してから使います。